

学校における海洋に関する教育について

平成25年12月
文部科学省

海洋に関する教育の状況

○海洋に関する教育に関しては、学習指導要領に基づき、小学校から高等学校までの社会科等において、我が国の位置と領土、海洋国家としての特色、海洋の影響などについての指導が行われている。

○平成20年、21年に学習指導要領を改訂し、海洋に関する教育の充実を図ったところ。(小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度から、高等学校は平成25年度入学生から実施)

(注)

学習指導要領: 学校教育法等の規定の委任に基づき、文部科学大臣が告示として定める教育課程の基準。
これまで、おおむね10年ごとに改訂している。

○これを受け、小学校社会、中学校社会及び理科、高等学校地理歴史、公民及び理科の教科書において、国土の東西南北の端、日本の領土問題、領海や排他的経済水域、漁業資源、海水の動きが気象に及ぼす影響等について記述されている。

学習指導要領における関係記述(小学校)

○小学校学習指導要領 社会〔第5学年〕(平成20年3月告示)

(1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

ア 世界の主な大陸と海洋，主な国の名称と位置，**我が国の位置と領土**

(2) 我が国の農業や**水産業**について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。

ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること，食料の中には外国から輸入しているものがあること。

イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など

ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き

学習指導要領における関係記述(中学校)

○中学校学習指導要領 社会〔地理的分野〕(平成20年3月告示)

(1) 世界の様々な地域

ア 世界の地域構成

地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、**大陸と海洋の分布**、主な国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ、世界の地域構成を大観させる。

(2) 日本の様々な地域

ア 日本の地域構成

地球儀や地図を活用し、**我が国の国土の位置**、世界各地との時差、**領域の特色と変化**、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。

イ 世界と比べた日本の地域的特色

(ア) 自然環境

世界的視野から日本の地形や気候の特色、**海洋に囲まれた日本の国土の特色**を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる。

(内容の取扱い)

(ア)「領域の特色と変化」については、**我が国の海洋国家としての特色**を取り上げるとともに、北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること。

学習指導要領における関係記述(中学校)

○中学校学習指導要領 社会〔地理的分野〕(平成20年3月告示)

イ 世界と比べた日本の地域的特色

(ウ)資源・エネルギーと産業

世界的視野から日本の資源・エネルギーの消費の現状を理解させるとともに、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、**日本の資源・エネルギーと産業**に関する特色を大観させる。

○中学校学習指導要領 社会〔公民的分野〕(平成20年3月告示)

(4) 私たちと国際社会の諸課題

ア 世界平和と人類の福祉の増大

世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、**国家間の相互の主権の尊重**と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割について考えさせる。

(内容の取扱い)

ア アについては、次のとおり取り扱うものとする。

(イ)「世界平和の実現」については、**領土(領海, 領空を含む)**、国家主権、主権の相互尊重、国際連合の働きなど基本的な事項を踏まえて理解させるように留意すること。

学習指導要領における関係記述(中学校)

○中学校学習指導要領 理科[第2分野](平成20年3月告示)

(4) 気象とその変化

ウ 日本の気象

(イ) 大気の動きと海洋の影響

気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや**海洋の影響**に関連付けてとらえること。

学習指導要領における関係記述(高等学校)

○高等学校学習指導要領 地理歴史 地理A(平成21年3月告示)

ア 地球儀や地図からとらえる現代世界

地球儀と世界地図との比較，略地図の描図などを通して，地球表面の大陸と海洋の形状や各国の位置関係，方位，時差及び**日本の位置と領域**などについてとらえさせる。

ウ 地球的課題の地理的考察

環境，**資源・エネルギー**，人口，食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ，地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ，それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。

(内容の取扱い)

アについては、球面上の世界のとらえ方に親しませるよう工夫すること。日本の位置と領域については、世界的視野から日本の位置をとらえるとともに、**日本の領域をめぐる問題**にも触れること。

ウについては、地球的課題ごとに世界を広く大観する学習と具体例を通して考察する学習を組み合わせる。その際、環境，資源・エネルギー，人口，食料及び居住・都市問題は、それぞれ相互に関連し合っていることに留意して取扱いを工夫すること。

学習指導要領における関係記述(高等学校)

○高等学校学習指導要領 地理歴史 地理B(平成21年3月告示)

エ 生活文化、民族・宗教

世界の生活文化、民族・宗教に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や民族と国家の関係などについて考察させるとともに、現代世界の民族、**領土問題**を大観させる。

(内容の取扱い)

エについては、領土問題の現状や動向を扱う際に**日本の領土問題**にも触れること。

学習指導要領における関係記述(高等学校)

○高等学校学習指導要領 公民 現代社会(平成21年3月告示)

オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割

グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、**国家主権**、**領土に関する国際法の意義**…について理解させ、国際平和、国際協力や国際調和を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。

○高等学校学習指導要領 公民 政治・経済(平成21年3月告示)

(1) 現代の政治

イ 現代の国際政治

国際社会の変遷、人権、**国家主権**、**領土などに関する国際法の意義**、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。

学習指導要領における関係記述(高等学校)

○高等学校学習指導要領 理科 地学基礎(平成21年3月告示)

(2) 変動する地球

ウ 大気と海洋

(イ) 大気と**海水の運動**

大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解すること。

○高等学校学習指導要領 理科 地学(平成21年3月告示)

(3) 地球の大気と海洋

地球の大気と海洋の事物・現象を観察, 実験などを通して探究し, 大気と**海洋の構造や運動**を理解させる。

イ **海洋と海水の運動**

(ア) 海洋の構造

海水の組成と海洋の構造を理解すること。

(イ) 海水の運動

海水の運動や循環及び海洋と大気の相互作用について理解すること。

ウ 地球の大気と**海洋に関する探究活動**

地球の大気と海洋に関する探究活動を行い, その学習内容の理解を深めるとともに, 地学的に探究する能力を高めること。